

令和3年度

文京区青少年健全育成活動の記録

令和4年12月

文京区

はじめに

次代を担う子どもたちの健やかな成長は、私たちすべての大人の願いであり、また、いきいきと光り輝くその姿は、明るく活気あふれる「まち」を創る大きな原動力となります。

区では、平成22年6月に策定した基本構想の実現に向け、3期にわたる基本構想実施計画に示した計画事業等を着実に実施し、区民等との協働・協治の下、様々な行政課題解決に取り組んでまいりました。それにより、人口22万人を超えるまでに回復するなど、「選ばれる自治体」として発展を続けてまいりました。

一方、ライフスタイルの多様化やICTの進展、人口減少社会の到来等、社会環境の変化は著しく、様々な社会的要因による行政需要の変化に対し、自治体の応用力が求められております。先を見通すことが難しい「変化の時代」において、将来にわたり持続可能で豊かな地域社会を構築していくためには、これまで以上に、迅速かつ柔軟な区政課題の解決をしていくことが不可欠であると考えております。

このような状況の中、基本構想が計画期間であるおおむね10年を迎えることから、新たな行政計画として、「文の京」総合戦略を策定し、令和2年度から取り組みがスタートしました。

しかしながら、令和3年度も新型コロナウイルスの感染症対策から、緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置によりイベント開催の延期・中止、感染予防対策での縮小開催など、通常とおりの日常を行うことができない1年間を過ごすこととなりました。

令和4年度は、日常生活が元に戻り、活動も通常の活動が可能となることを願いつつ、感染防止と社会経済活動を両立させる新たな日常を確立させることが活動再開に重要であると考えております。

今後、子どもたちの自主性・社会性を育むため、従来の“参加”から“参画”へステップアップし、地域における青少年健全育成活動の中心的役割を担う「文京区青少年健全育成会」の益々の活躍を願っております。

最後に、この冊子は令和3年度の青少年健全育成活動と非行防止活動をまとめたものですが、活動が大幅に縮小された内容となっております。

そのような中でも作成にご協力いただきました団体の皆様に感謝申し上げるとともに、今後の活動の参考資料としてご活用いただければ幸いです。

令和4年12月

文 京 区

目 次

文京区青少年問題協議会

1 概要	1
2 組織	1
3 議事	2
4 あいさつ・声かけ運動	3
5 ITメディアに関する情報提供用リーフレットの配布	3

文京区青少年健全育成会活動

1 概要	4
2 各地区の活動内容	5
3 合同事業	
(1) 文京区青少年健全育成会九地区合同行事「文の京こどもまつり」	10
(2) 機関誌『やんぐ』	12
4 委員研修会	12

文京区青少年プラザ（b-lab）

1 設置目的	13
2 設置概要	13
3 利用実績	14
(1) 運營業務委託事業者	14
(2) 利用実績	14
4 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対応	15
(1) 開館時間	15
(2) 人数制限	15
(3) 衛生管理	15
5 事業概要	15
(1) 中高生スタッフ	15
(2) 実施事業	15
(3) 広報活動	16
6 出張 b-lab	17

文京区版ひきこもり総合対策

文京区ひきこもり支援センター

1 文京区ひきこもり支援ネットワーク	18
--------------------	----

STEP（ひきこもり等自立支援事業）

1 事業内容	
(1) ひきこもり相談	19
(2) 講演会・個別相談会	19
(3) 茶話会	19
(4) ステップUPプログラム	19
(5) フリースペース	19
(6) 定着化サポート	20
(7) 運營業務委託業者	20

健全育成活動・非行防止活動

1	文京区社会を明るくする運動	
	(1) 運動の趣旨	21
	(2) 活動内容	22
2	環境浄化推進活動	
	(1) 子ども110番	31
	(2) 不健全図書類販売状況調査	32
3	文京区「家庭の日」啓発	34
4	文京区青少年の社会参加推進事業補助金	35

青少年対策推進関係機関連絡会

1	趣旨	35
2	構成	35
3	議事	35

文京区青少年問題協議会

1 概要

文京区青少年問題協議会（以下「協議会」という。）は「地方青少年問題協議会法」（注）に基づき、昭和31年に制定された「文京区青少年問題協議会条例」により、区長の附属機関として設けられました。

協議会は、青少年の健全育成施策推進のために、関係行政機関と地域活動団体、さらに団体相互の連絡調整を行うことを所掌事務としています。また、青少年問題に関する見解や対策を提案するとともに、自らも「重点行動」を定めて実施するなどの活動を行っています。

（注）旧「青少年問題審議会及び地方青少年問題協議会設置法」 昭和28年7月25日公布、平成11年法令名改正

2 組織

協議会は区長を会長とし、区長から委嘱または任命された45名以内の委員によって構成されています。（表参照）

また、協議会の効率的な運営を図るため、必要事項の調査研究を行う幹事会を設置するとともに、必要に応じて現状の問題点や緊急課題について調査研究を行う部会を設けています。

（表）令和2年度青少年問題協議会構成

会長	区長
区議会議員	8名
学識経験者	25名 選出団体は下表のとおり
関係行政機関職員	7名 区内警察署長・警視庁巣鴨少年センター所長 区立小学校長会代表・区立中学校長会代表
区職員	2名 教育委員会教育長・教育推進部長

〔学識経験者（25名）選出団体〕

保護司会 ※	青少年健全育成会（9地区）※
民生委員・児童委員協議会 ※	町会連合会
東京商工会議所文京支部	青少年委員 ※
スポーツ推進委員	女性団体連絡会
防犯協会	更生保護女性会
教育委員会	区立小学校PTA連合会 ※
区立中学校PTA連合会 ※	東京青年会議所文京区委員会
区内都立高等学校※	区内私立高等学校※

民生委員・児童委員協議会は、主任児童委員を含め2名の委員を選出しています。

※の団体は幹事会に委員を選出しています。

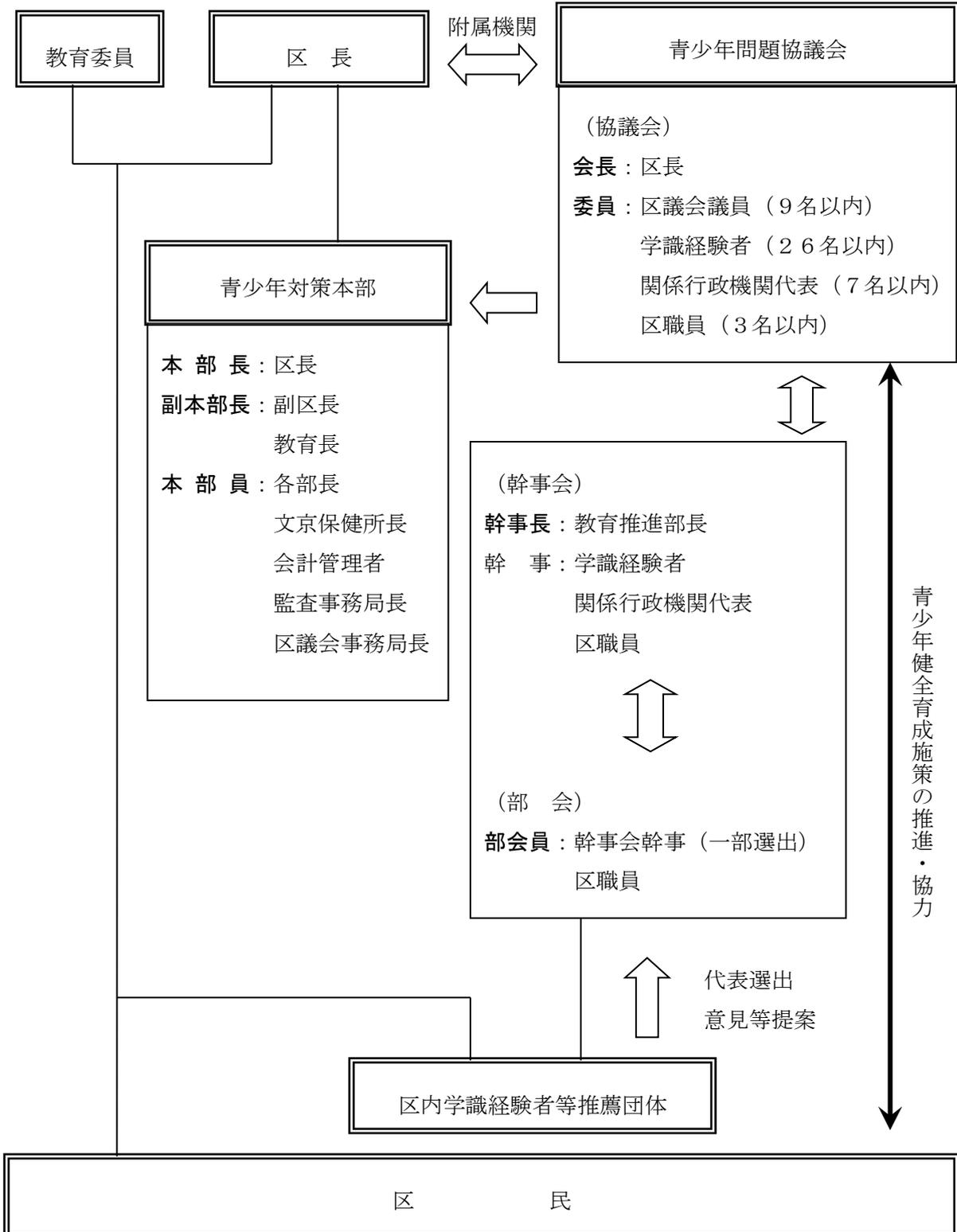
3 議 事

◆文京区青少年問題協議会及び幹事会 共通（書面開催）

【議題】

- ①文京区青少年健全育成会事業について
- ②文京区青少年プラザの運営について
- ③子ども110番事業について
- ④環境浄化推進事業について
- ⑤インターネットのルールとマナー冊子について

4 青少年対策関係組織図



4 あいさつ・声かけ運動

平成15年度に文京区青少年問題協議会で策定した「はじめの一步！（文京区青少年育成プラン）」では、「あいさつ・声かけ」を重点行動に掲げ、地域の大人と子どもたちとの気軽なコミュニケーションの「きっかけ」づくりとして「あいさつ・声かけ」の推進を呼びかけています。

(1) クリアファイルの作製・配布

区内小学校新1年生に配布しました。

クリアファイル



(2) リストバンドの貸出

学校行事や地域のイベントなどでの「あいさつ・声かけ運動」の目印としてリストバンドを貸し出しています。

リストバンド



5 ITメディアに関する情報提供用リーフレットの配布

ITメディアに関する情報提供用リーフレットを配布しました。

配布先：区立・国立・都立・私立小学4、6年生

(左) 児童用

『インターネットのルールとマナー
インターネットを使いはじめた
みんなに知ってほしいこと！』

(右) 保護者用

『インターネットのルールとマナー
ネット社会に生きる子どもを守るために』



文京区青少年健全育成会活動

1 概 要

【文京区青少年健全育成会とは】

青少年が健やかに成長するための活動を行っている自主的な団体です。

地域の青少年の健全育成を担う団体の中心となって、学校や家庭だけでは経験することが難しい社会体験の機会の提供や、地域事業への青少年の参画、家族のふれあいを促進する事業などを行っています。

【沿革】

昭和37年、青少年の健全育成活動、青少年をめぐる社会環境の浄化、働く青少年の指導育成、家庭及び両親教育の振興などを活動目的として、「文京区青少年対策地区委員会」が、9つの旧出張所単位で誕生しました。

平成27年4月からは、「文京区青少年健全育成会」へと名称を変更し、よりわかりやすく時代に即した活動を行っています。

社会情勢の変化とともに青少年問題は複雑化していますが、文京区青少年健全育成会は自主的な団体として、地域における青少年健全育成の中心的役割を担っており、区としてもその活動の重要性を鑑み、各種の活動支援を行っています。

【組織】

9つの健全育成会は、それぞれ独立した規約や会計に基づき活動していますが、各健全育成会の会長で構成する「会長会」、会長・副会長等で構成する「九地区連絡会」を年2回程度開催し、連絡調整を図っています。

また、9つの健全育成会が合同で行う九地区合同行事及び機関誌『やんぐ』の発行については、各健全育成会から選出された委員により、「九地区合同行事実行委員会」、「やんぐ広報委員会」を組織し、事業の企画・運営を行っています。

2 各健全育成会の活動内容

各健全育成会は、令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、総会などの会議は書面送付やリモートでの開催となりました。また、多くのイベントが中止・延期となりましたが、一部のイベントは、オンラインでの開催や規模を縮小するなど、感染症対策を行ったうえで開催したイベントもありました。

※次ページより掲載

礪川青少年健全育成会

【活動理念】

- 1 地域での各世代間のつながりを体感
- 2 行事や交流の中で自立と社会性を育む
- 3 子どもたちを中心に地域各団体の連携

会長 中島 正一 会員数 125 人 地区人口 29,847 人 青少年人口 5,893 人

【令和 3 年度に行ったイベント】

☆「親子で！自宅で！オンライントレーニング」 実施日 11 月 21 日（日） 参加者数 9 人

【上記以外で通常の時に行っている主なイベント】

- ☆ストラックアウト（6 月）
- ☆サマーファミリーフェスティバル（8 月）
- ☆バスツアー（10 月）
- ☆礪川マラソン（11 月）
- ☆親子ふれあいクッキング（3 月）

大原青少年健全育成会

【活動理念】

- あいさつ ○ 青少年リーダー ○ まち創り

会長 安田 真也 会員数 80 人 地区人口 33,104 人 青少年人口 7,074 人

【令和 3 年度に行ったイベント】

☆「ハロウィン 2021 謎解き×スタンプラリー」 実施日 10 月 31 日（日） 参加者数 1,069 人

【上記以外で通常の時に行っている主なイベント】

- ☆合同ラジオ体操会（8 月）
- ☆大原夏まつり（8 月）
- ☆大原スポーツ祭り（10 月）
- ☆バスハイク（2 月）

※会員数は令和 4 年度総会時 人口は令和 4 年 4 月 1 日現在 青少年人口は 3 歳～25 歳

大塚青少年健全育成会

【活動理念】

- 1 家庭と社会をつなぐパイプを構築し、青少年と家族との「心と体」のふれあいを増進する。
そして「勉強」「運動」「様々な体験」の意義を再認識させる。
- 2 青少年の豊かな感受性と表現の育成を図る。
- 3 青少年を見守る社会の連携を強化し、青少年を育む環境づくりを促す。
- 4 「文の京」の地域文化を次世代へ伝承する。

会長 伊藤 博之 会員数 104 人 地区人口 42,319 人 青少年人口 9,270 人

【令和 3 年度に行ったイベント】

- ☆「謎解き脱出ゲーム」オンライン 実施日 8 月 22 日（日） 参加者数 60 人
- ☆「落語ワークショップ」オンライン 実施日 10 月 24 日（日） 参加者数 34 人
- ☆「カプラで遊ぼう」 実施日 12 月 18 日（土） 参加者数 77 人

【上記以外で通常の時に行っている主なイベント】

- ☆夏休みこども会（7 月）
- ☆年末こども会（12 月）
- ☆ドッチビー対抗戦（12 月）
- ☆ファミリーバスハイク

音羽青少年健全育成会

【活動理念】

子どもも大人もドキドキワクワクする楽しい活動

- 社会貢献を学ぶ機会
- チャレンジ体験
- 遊びを通じて学ぶグループワーク
- 地域社会全体の連携
- 地域ぐるみの子育てネットワークづくり
- やりがいのあるボランティア

会長 松崎 勲 会員数 79 人 地区人口 21,980 人 青少年人口 4,605 人

【令和 3 年度に行ったイベント】

- ☆「卒業式フォトスポット」 実施日 3 月 18 日（金）・3 月 25 日（金） 参加者数 345 人
- ☆「地域ふれあいコンサート」オンライン 実施日 3 月 27 日（日） 出演者数 160 人

【上記以外で通常の時に行っている主なイベント】

- ☆ドキドキ体験（夏休み）
- ☆ワクワク体験星空観測会・お味噌作り（1・2 月）

※会員数は令和 4 年度総会時 人口は令和 4 年 4 月 1 日現在 青少年人口は 3 歳～25 歳

湯島青少年健全育成会

【活動理念】

- 1 大人の自己満足ではなく、「子どもの目線」で
- 2 子どもを集めるのではなく自然に集まる「魅力ある企画」を
- 3 地域との「つながり」を大切に

会長 菊池 清 会員数 89 人 地区人口 29,996 人 青少年人口 5,879 人

【令和 3 年度に行ったイベント】

- ☆「スキー&スノボ」 実施日 1 月 15 日（土）～16 日（日） 参加者数 37 人
- ☆「野外活動 なぞ解きイベント」 実施日 3 月 13 日（日） 参加者数 24 人
- ☆「地域子どもプラザ」 実施日 3 月 21 日（月祝） 参加者数 213 人

【上記以外で通常の時に行っている主なイベント】

- ☆美と生活（7 月）
- ☆親子でチャレンジ（12 月）
- ☆青少年リーダー育成事業及び活動（通年）

向丘青少年健全育成会

【活動理念】

地域のみんなで手をつなぎ明るく元気な青少年の育つ環境作りと楽しい事業を通して助け合いの心を大切にする地域づくりを進めます。

会長 西脇 繁和 会員数 63 人 地区人口 15,846 人 青少年人口 3,888 人

【通常の時に行っている主なイベント】

- ☆子供安全教室
- ☆プール開放（7 月）
- ☆バスハイク（8 月）
- ☆駒本まつり（10 月）
- ☆ケーキ作り（12 月）
- ☆手作り望遠鏡で星空観察（2 月）

※会員数は令和 4 年度総会時 人口は令和 4 年 4 月 1 日現在 青少年人口は 3 歳～25 歳

根津青少年健全育成会

【活動理念】

- 1 地域のつながりを自覚させる
- 2 自然とのふれ合いを大切にさせる
- 3 地域文化を伝える

会長 徳世 浩二 会員数 69 人 地区人口 8,487 人 青少年人口 1,529 人

【令和 3 年度に行ったイベント】

☆「新江ノ島水族館・鎌倉遠足（バスレク）」 実施日 12 月 12 日（日） 参加者数 36 人

【上記以外で通常の時に行っている主なイベント】

- ☆ファミリーレクリエーション（6 月）
- ☆どじょうつかみ大会（7 月）
- ☆プール開放（8 月）
- ☆親子もちつき大会（12 月）
- ☆雪遊び（2 月）

汐見青少年健全育成会

【活動理念】

- 青少年の社会参加・参画の促進
- 環境浄化活動の推進
- 青少年の心身の健康づくり

会長 相澤 夏紀 会員数 76 人 地区人口 17,457 人 青少年人口 3,451 人

【通常の時に行っている主なイベント】

- ☆プール開放（8 月）
- ☆親子施設見学会（8 月）
- ☆スキー行事（1 月）
- ☆中学生企画行事（2 月）
- ☆千駄木マラソン大会（3 月）

※会員数は令和 4 年度総会時 人口は令和 4 年 4 月 1 日現在 青少年人口は 3 歳～25 歳

駒込青少年健全育成会

【活動理念】

地域交流体験「つながり」

- 子どもと大人
- 子どもと子ども
- 大人と大人

会長 武智 弘英 会員数 63 人 地区人口 28,182 人 青少年人口 6,075 人

【令和 3 年度に行ったイベント】

- ☆「ウォークラリー夏」 実施日 6 月 26 日（土）～7 月 4 日（日） 参加者数 320 人
- ☆「ウォークラリー秋」 実施日 10 月 23 日（土）～31 日（日） 参加者数 226 人
- ☆「お年玉企画ウォークラリー」 実施日 1 月 15 日（土）～23 日（日） 参加者数 308 人
- ☆「九中ボッチャ体験会」 実施日 12 月 5 日（日） 参加者数 60 人
- ☆「音楽会」 実施日 3 月 27 日（日） 参加者数 74 人

【上記以外で通常の時に行っている主なイベント】

- ☆ワンデイハイク（6 月）
- ☆プールまつり（7 月）
- ☆プール開放（7 月）
- ☆納涼会（盆踊り）（8 月）
- ☆スポーツ交流会（9 月）
- ☆お菓子作り教室（2 月）



※会員数は令和 4 年度総会時 人口は令和 4 年 4 月 1 日現在 青少年人口は 3 歳～25 歳

3 合同事業

(1) 文京区青少年健全育成会九地区合同行事「文の京こどもまつり」

九地区合同行事は、11月の文京区「家庭の日」(第2日曜日)に家族がふれあい、きずなを深めるための事業として、九地区合同行事実行委員会により企画・運営を行っています。

今年度は、昨年度に引き続き、各地区の会場でスタンプを集めて景品をもらう「スタンプラリー」を開催し、一部の会場でミニゲームを実施いたしました。また、新型コロナウイルスの早期終息を願い、参加者から折鶴を集めました。

- 日 時：令和3年11月14日(日) 午前10時～午後3時
- 主 催：文京区青少年健全育成会九地区合同行事実行委員会
- 共 催：文京区
- 内 容：スタンプラリー、ミニゲーム、折り鶴回収
- 会 場：

・スタンプ会場

- ① 喜運寺
- ② 護国寺
- ③ 牛天神北野神社
- ④ 源覚寺
- ⑤ 傳通院
- ⑥ 礪川公園

・スタンプ・ゲーム会場

- ⑦ 第三中学校
- ⑧ 教育の森公園
- ⑨ 茗台中学校

○ 実 績：

・参加者数

2,005名(推計)

・ゲーム参加者数

1,807名(重複あり)

・完歩者数

281名

・折り鶴協力数

3,131羽

○ 当日の様子



▲スタンプラリー会場



▲スタンプラリーカード



▲スタンプラリーの様子



▲ミニゲーム「スリッパ飛ばし」の様子



▲ミニゲーム「ドキドキあみだくじ」の様子



▲ミニゲーム「勝ち抜きジャンケン」の様子



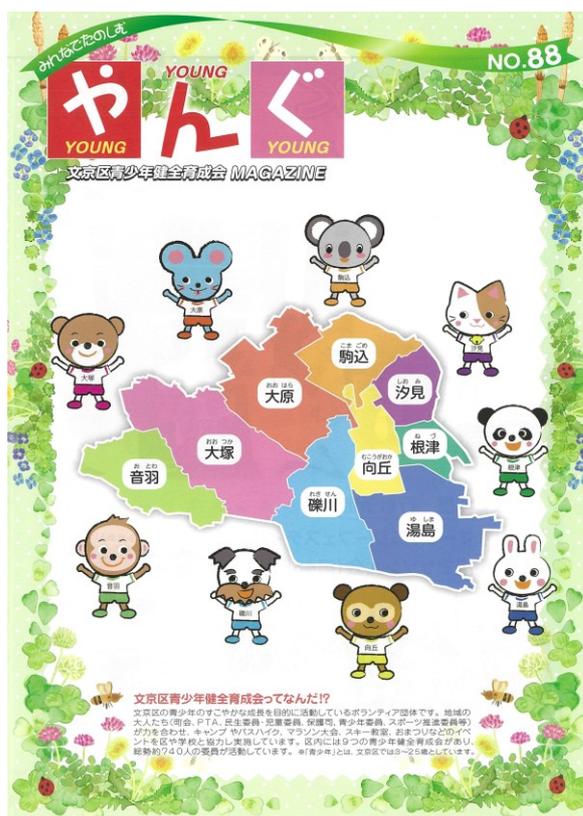
▲令和2年度分と合算すると1万羽以上の折り鶴が集まりました！

(2) 機関誌『やんぐ』

『やんぐ』は、文京区青少年健全育成会の機関誌として、昭和52年に創刊されました。イベントに参加した子どもたちや保護者の方の感想、企画・運営に携わった委員のコメント、健全育成会事業の報告や活動写真などを掲載しています。より多くの区民の方に青少年健全育成会の活動をご理解いただき、行事等に参加・協力していただくために発行しています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う事業等の中止により、本年度は、秋号の発行を見送り、第88号を令和4年3月に発行しました。

- 編集：広報委員18人（各地区2人）
- 発行：年1回（秋号は休刊）

第88号（令和4年3月31日発行） A4判／12ページ／フルカラー



4 委員研修会

令和3年度も新型コロナウイルス拡大防止対策のため中止しました。

文京区青少年プラザ（愛称 b-1 a b）

1 設置目的

b-1ab は、中高生の自主性・社会性の成長を応援することを目的に、文京区教育センターとの複合施設として開設した、区内初の中高生向け施設です。

“中高生の秘密基地”をコンセプトとし、リビングのようなスペースや、勉強、バンド活動、ダンス・バスケなどのスポーツや料理ができるスペースがあり、文化・スポーツ、学習支援などのイベントを実施するほか、中高生がイベントの企画や b-1ab の運営に関わる挑戦のステージがあります。

「b-1ab」とは文京区青少年プラザの愛称であり、Bunkyo laboratory(研究室・実験室)の略称。公募により、区内の高校生が名付けました。

2 設置概要

(1) 住 所

文京区湯島四丁目7番10号（教育センター）

(2) 開館時間

午前9時～午後9時（中学生の利用は午後8時まで）

(3) 休 館 日

12月29日～1月3日、保守点検日（年1回程度）

(4) 利用対象者

区内在住・在学の中学生及び高校生（在勤の中高生世代を含む）

※ホール及び音楽スタジオは、区内在住・在学・在勤の一般の方（大人）も利用可（有料）。

(5) 施 設

① 中高生談話スペース【1階】

おしゃべりしたり、のんびりしたり、勉強など何でもできる自由なリビングのようなスペースです。

② 多目的スペース【1階】

料理や工作ができるスペースです。必要に応じて仕切って使えます。

③ ホール【1階】（貸出施設）

ダンスや演劇などの練習や発表ができるスペースです。

④ 音楽スタジオA・B【1階】（貸出施設）



大・小の音楽スタジオです。完全防音で、バンドに必要な楽器・機材を揃えています。

⑤プレイヤード【2階】

色々なスポーツができる屋外のスペースです。

⑥研修室【2階】（教育センター共用）

静かに集中して勉強ができる自習スペースです。

⑦軽運動室【3階】（教育センター共用）

卓球等の運動ができる屋内のスペースです。

(6) 使用料 (一般)

[ホール]

使用料		
①9:00～12:30	②13:00～16:30	③17:00～20:30
2,500円		

[音楽スタジオ]

施設名	使用料			
	①9:00～12:00	②12:30～15:30	③16:00～18:00	④18:30～20:30
音楽スタジオA	1,200円			
音楽スタジオB	400円			

※このほか、附帯設備（楽器等）の使用料あり。

※中高生の施設使用料及び附帯設備使用料は無料。

※土・日・休日、長期休業期間の全区分及び平日③以降の区分は中高生のみ利用可。

3 利用実績

(1) 運營業務委託事業者

認定特定非営利活動法人カタリバ

(2) 利用実績

①新規登録者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
117	20	40	139	121	67	119	122	117	76	76	115	1,129

②来館者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
1,065	20	512	1,630	1,856	1,269	1,245	1,443	1,502	1,081	1,314	2,297	15,234

4 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対応

政府による「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」の発出の時は、下記のとおり利用制限を設けて運営しました。

(1) 開館時間

状況に応じて閉館時間を短縮。

(2) 人数制限

各室の利用者数に上限を設けました。

(3) 衛生管理

検温、手洗い（消毒）、マスク着用、館内での飲食禁止。（但し、水分補給の場合を除く）

5 事業概要

(1) 中高生スタッフ

イベント等に主体的に関わる利用者を「中高生スタッフ」と位置付け、各種事業や運営に参画しています。また、活動期間は各学期に合わせて設定しています。

今年度の活動	人数
21 期(4～8 月)	12
22 期(9～12 月)	15
23 期(1～3 月)	15

(2) 実施事業

① 主な講座・イベント

ア 自習応援！マナビ場（定期講座）

中高生の自習の場を作り、皆が勉強に向き合う空間を提供しています。

イ クリエイターズ.lab（定期講座）

CM作成や短編小説の執筆等、ものづくりをテーマとしたワークショップを行っています。

ウ クイズ部（中高生自主企画イベント）

中高生が参加しやすいよう、様々なジャンルのクイズ・謎解きを作成・実施しています。

② フェス事業

年3回（夏・冬・春）、主にライブやダンス発表等を開催しました。

ア 夏フェス

8月の緊急事態宣言解除後、9月19日（日）に開催。感染拡大防止のためバンドやダンス等の発表は中止し、早押しクイズやプレゼン等の企画を館内で実施しました。

イ 冬フェス

12月26日（日）・12月27日（月）に開催。1日目は、感染防止対策を徹底した上で、バンドやダンス等の発表をホールにて実施しました。2日目は、中高生企画イベントやb-1abアワードを実施しました。

ウ 春フェス

3月29日（火）～31日（木）に開催。1, 2日目は、バンドやダンス等発表のステージや中高生企画イベントを実施。3日目は、卒業式を実施しました。

③ 地域連携事業

b-lab 利用者が、館内だけではなく地域においても活動・活躍の機会を持てるよう、青少年健全育成会等関係機関との連携を進めています。

ア 教育センター謎解き企画

教育センター内で謎解きイベントを実施。中学生が作成したなぞなぞクイズを教育センター内に掲示し、小学生等の来館者に謎解きを提供しました。

イ 文京ワカモノ未来 PROJECT

中高生が初めての「ヒト・モノ・コト」に出会い、探求学習のきっかけを生み出すことをテーマに、区内の様々な場所でワークショップを実施。今年度は、放課後 NPO アフタースクール・文京区立真砂中央図書館・ルーラルコーヒーの3会場にて実施。ワークショップを通じて中高生の「やってみたい」を支援しました。

ウ 湯島青少年健全育成会との連携事業

湯島青少年健全育成会で実施している「野外活動・美と生活」と青少年プラザで実施している「謎解き企画」のコラボとして、小学生を対象に令和4年3月に実施しました。

(3) 広報活動

①WEB サイト (<http://b-lab.tokyo/>)

施設概要や講座情報、中高生スタッフにより更新されるブログ等を掲載しています。

②Twitter (@blab_tokyo)

館内の様子や講座やフェスの実況を発信しています。

③LINE@

友だち登録した利用者に対して、直近の講座情報を発信しています。

④Instagram (blab_tokyo)

写真を中心に、イベントの様子や日常の様子を発信しています。

⑤YouTube (「文京区青少年プラザ b-lab」)

スタッフ紹介やイベント情報を動画で発信しています。

⑥広報誌「Bunkyo teens magazine Cha!Cha!Cha!」

施設紹介のほか、区内の中高生の活動を紹介しています。広報誌の企画・作成には中高生スタッフが携わり、区内の中学校・高等学校・中等教育学校生徒や青少年関係団体等に配布しました。

⑦b-lab たより (生徒向け)

館内の様子のほか、講座情報をカレンダー形式で告知。区内中学校、高等学校、中等教育学校に隔月配布しています。

⑧b-lab 通信 (教員向け)

施設の取り組みや、中高生スタッフの活動の様子や声を掲載。区内中学校、高等学校、中等教育学校に隔月配布しています。



↑ 広報誌「Cha!Cha!Cha!」17号 (令和4年3月発行)

6 出張 b-lab

施設の利用促進と生徒の進路意識の向上を目的に、区立中学校へのお出張授業「出張 b-lab」を実施。b-lab の紹介や、キャリア学習授業「先輩と語る座談会！カタリ場」を行っています。

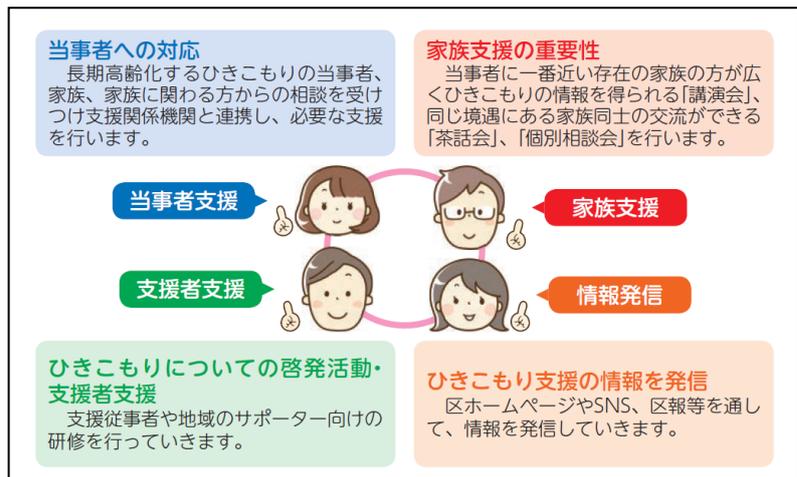
今年度は、12月17日（金）5～6時間目に、文京区立文林中学校の2年生に向けて実施。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、4つの教室に分散し、「先輩の話」を実施いたしました。少人数での談話や個人ワークシートを通して、生徒が自分自身と向き合う時間を提供し、進路選択の一步を踏み出すきっかけを生み出しました。

文京区版ひきこもり総合対策

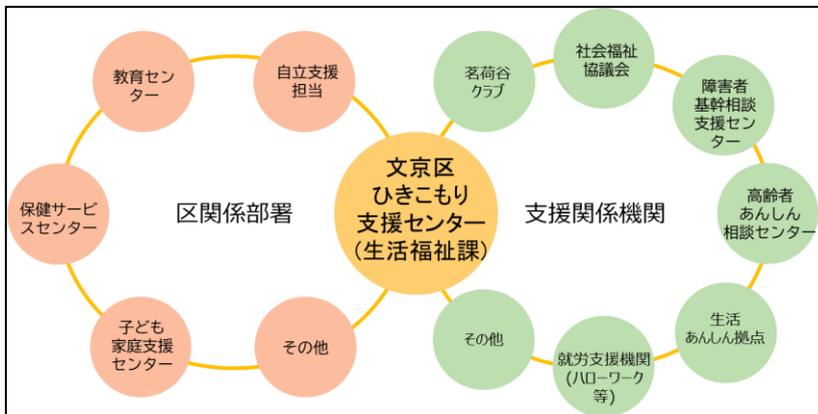
文京区ひきこもり支援センター

ひきこもりに関するご本人、ご家族等からの総合相談を行います。複合的な課題に対応していくために、支援関係機関と連携し、解決に向けての支援を一緒に考えていきます。

場所：文京区役所 9階
生活福祉課自立支援担当
TEL 03-5803-1917
相談受付：平日 9時から 17時まで
相談形態：電話相談、来所相談
内容によって訪問相談



■ 文京区ひきこもり支援ネットワーク



支援関係機関と連携をしながら、「断らない」「ひきこもり当事者の小さな変化に気付きつながら続ける」相談を行っていきます。また、ひきこもり等自立支援会議を行い、区内ひきこもり支援に関する検討を行っていきます。

STEP (ひきこもり等自立支援事業)

長期にわたって、就学・就労等の社会参加ができず、家族以外の人間関係がない状態(以下、「ひきこもり」という。)にある区内在住の義務教育終了後の方とその家族等を支援するため、「STEP」(Support 支援/Talk 相談/Experience 経験/Place 居場所)を実施しています。

■ 事業内容

(1) ひきこもり相談

臨床心理士等が、電話・来所・訪問・メールにより相談、カウンセリング等を行います。

(2) 講演会・個別相談会

ひきこもり当事者への望ましいアプローチ方法等を理解するための講演会を年3回実施しました。
令和4年度についても、年3回実施予定です。

	テーマ	講演会講師	参加者数
第1回	ひきこもりダイアログ講座 ～ひきこもりへの対話的アプローチ～	斎藤 環 氏 (筑波大学教授)	オンライン講演会 : 66名
第2回	「ひきこもり家族のライフプラン」	畠中 雅子 氏 (ファイナンシャルプランナー)	講演会: 26名
第3回	「なぜひきこもりは長期化するのか？」 ～家族のできることを考える～	白石 弘巳 氏 (精神科医)	オンライン講演会 : 28名

個別相談：臨床心理士等の相談に加え、10月にはファイナンシャルプランナーの個別相談を新規追加
開催回数：年2回（令和3年6月は中止）

(3) 茶話会

同じ境遇にある家族同士の情報交換やひきこもり当事者へのアプローチ等の習得を目的とした茶話会を年6回実施しました。令和4年度についても、年6回実施予定です。

	開催月	テーマ	参加者数
第1回	5月	ひきこもりの背景を知る ～医療も含めて～	6名
第2回	7月	居場所から見えてくるもの ～事例を中心に～	10名
第3回	9月	自立につながる親子関係～近すぎず遠すぎない心地よい関係って？～	14名
第4回	11月	家庭内でできるよりよい会話と対話とは	13名
第5回	1月	働くことを考えてみる ～事例を通して～	19名
第6回	3月	本人の体験談	13名

(4) ステップUPプログラム（社会参加に向けての段階的なプログラムを実施）

- ・コミュニケーション編：コミュニケーション力向上のためのトレーニングを行うプログラム
- ・社会参加準備編：就労するための知識や自分の適性を学び、実践するプログラム
- ・社会貢献編：ボランティア活動を通じて、社会参加を経験するプログラム
- ・ジョブコーチ：支援者が職場に同行し、就労に向けた支援を行うプログラム

(5) フリースペース

学校や職場へ行くことに困難を感じている方の自宅以外の居場所支援です。利用者同士やスタッフとの関わりを通じて対人関係の改善を図ります。

(6) 定着化サポート

臨床心理士との面談や、利用者同士の交流会を通じて、就職・就学・復学後の不安や悩みを解消する支援です。

(7) 運營業務委託業者 公益社団法人青少年健康センター茗荷谷クラブ

健全育成活動・非行防止活動

1 文京区社会を明るくする運動

(1) 運動の趣旨

毎年7月は「社会を明るくする運動強調月間」並びに「青少年の非行・被害防止全国強調月間」にあたります。

① 社会を明るくする運動

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築こうとする全国的な運動です。

文京区においても、「社会を明るくする運動」の趣旨をより一層周知するために、行政、関係機関、関係団体、地域住民が連携して、積極的に取り組んでおり、毎年多くの区民、関係者の参加と協力を得て、月間を通じて様々な活動を実施しています。

② 青少年の非行・被害防止全国強調月間

内閣府が主唱する「青少年の非行・被害防止全国強調月間」は、青少年の非行、被害の防止のための取組を広く集中的に実施することを目的として定められています。関係機関、関係団体、地域住民等の協力を得て、国民の非行防止意識の高揚、青少年の非行等問題行動への対応の強化を図ります。

社会を明るくする運動と併せて実施することで、より広範に認知されることを目指しています。

③ 運動の期間

例年7月に実施している東京ドーム周辺広報啓発活動は、新型コロナウイルス感染防止のため中止し、12月初め文京シビックセンター周辺で実施しました。

④ 主 催

文京区社会を明るくする運動推進委員会

[構成団体] (順不同)

文京区	文京区保護司会
文京区更生保護女性会	文京区青少年健全育成会 (9地区)
文京区立小学校長会	文京区立中学校長会
文京区立小学校PTA連合会	文京区立中学校PTA連合会
文京区町会連合会	文京区民生委員・児童委員協議会
文京区社会福祉協議会	文京区内警察署少年補導員連絡会 (4地区)
防犯協会 (4地区)	文京区青少年委員会
文京区商店街連合会	東京青年会議所文京区委員会

(2) 活動内容

① 運動全体にかかる広報啓発活動

- ・区報ぶんきょう 6月25日号及び区ホームページでの広報
- ・ポスター・チラシによる広報・啓発活動

② 文京区社会を明るくする大会

- 日 時：令和3年7月11日（日）午後1時30分～午後3時30分
- 場 所：文京区民センター
- 内 容

プログラム

- 司 会：文京区立中学校PTA連合会 反町 英典
- 1 開会あいさつ：文京区保護司会会長 亀田 一良
- 2 主催者あいさつ：文京区長 成澤 廣修
- 3 来賓あいさつ：文京区議会議長 田中 としかね
- 4 青少年の意見発表
文京区立茗台中学校 馬場 あかり
文京区立本郷台中学校 氏名非掲載希望
文京区立音羽中学校 南平 江慈
総評 文京区教育長 加藤 裕一
- 5 講演 「スポーツのカーバレーボールで学んだもの」
講師：北京オリンピック女子バレー日本代表 櫻井 由香
- 6 閉会あいさつ：文京区青少年健全育成会九地区連絡会会長 中島 正一

- ポスター・チラシデザイン：都立工芸高等学校 戸川 晴馬
- プログラムデザイン：都立工芸高等学校 服部 心優

※東京都立工芸高校には、社会を明るくする運動東京都推進委員会委員長（東京都知事）より感謝状が贈呈されました。

- 参加者：85人

（構成団体66人 来賓・関係者14人 一般5人）



【中学生の意見発表】

あなたの「思いやり」

文京区立茗台中学校 ^{ばば}馬場 あかり

皆さんは、「思いやり」とはどういうことだと思いますか？

実際に、「思いやりの意味」を即座に答えられる人は、少ないのではないのでしょうか。

私が考える「思いやり」とは、相手はその行動によってどういう気持ちになるのか考える、ということです。私は、このことをできるだけ意識して、話したり、行動したりしています。皆さんには、自分の考える「思いやり」がありますか？また、それを意識して行動しているのでしょうか。



私には小学六年生の時に、「思いやり」について、深く考えるきっかけになった出来事があります。そのころ、私が通っていた塾では、職業について調べ、発表をするプロジェクトを進めていました。私は、人を喜ばすことができる仕事に興味があったため、ホテルのコンシェルジュの方に直接インタビューする機会を得たのです。

その方がとても大事にしていたのが、「お客様を思いやる心」です。ホテルで働くには、ホスピタリティの精神が欠かせません。お客様が何を望み、どうしたら喜んでもらえるか……。そのように、どんなときでも相手の立場に立って、物事を考えているとおっしゃっていました。もちろん、私たち学生の「思いやり」と、ホテルのような、おもてなしの場での「思いやり」では種類が違うでしょう。ですが、実際に「思いやり」の心を常にもち、働いている人の言葉を聞いて、私は、いつも相手の気持ちを考えて行動しているだろうか、と思うようになりました。ですから、その後からはできるだけ、行動する前に相手がどういう気持ちになるかを考えるようにしています。

「社会を明るくする」には、みんなが笑顔で、楽しくいられることが大切です。全員が楽しく毎日を過ごす、ということはとても難しいことかもしれません。ですが、一人一人が「思いやりの心」を持つことで、そのような明るい社会に大きく近づくことができるのではないのでしょうか。

しかし一方で、悲しい事件も起きてしまっています。去年は、SNSで誹謗中傷を受けた女性が、亡くなってしまう事件がありました。自分の意見だけを一方的に主張するのではなく、一度、相手の立場に立って、相手がどう思うのかを考えてみれば、相手がひどく傷つくようなことは言えないのではないのでしょうか。それが積み重なれば、このような事

件も起きなかったはずで。

いじめや差別の問題でも同じことが言えます。相手が「嫌だ」と思ったら、それは、いじめです。軽く冗談を言っているつもりでも、相手が、本気で嫌がっているかどうか分からないから、いじりを続けてしまうのでしょうか。一度だけでも、その人の気持ちを考えてみるのが大切だと思います。

私は、茗台中学校で生徒会に入っています。生徒会では、生徒総会や色々な行事の運営、準備を一生懸命に行っています。ですが、会が終わった後に「つまらなかった」とか「眠くなった」と、言われてしまうこともあります。もちろん、言っている人たちに、相手を傷つける気持ちは全くありませんが、やはりそういうことを言われると、せっかく頑張ったのにな、という気持ちになってしまいます。他人の気持ちを完璧に理解することはできません。ですからこのように、自分が気づかないうちに相手を不快な気持ちにさせてしまうこともあるでしょう。でも、少しずつ、相手の心を考えるようにすれば、そういうことはきっと少なくなるはずで。

「思いやりをもとう」「相手の気持ちを考えよう」ということは、社会で生活していく上で、何度も何度も聞く言葉です。しかし本当に、自分は思いやりをもっているのか、考えてみてください。あなたにとっての「思いやり」とは何ですか？

もちろん「思いやりの意味」に正解はありません。ですが、この私たちが生きる社会を、明るく、みんなの笑顔があふれるものにするには、一人一人が、自分の「思いやり」を胸に、生きていくことが大切だと思います。

【中学生の意見発表】（※氏名、顔写真非掲載希望）

ダンスが私に教えてくれたこと

文京区立本郷台中学校

皆さんは、「明るい」と言われて、どのような様子を思い浮かべますか？

私は、一番初めに太陽の柔らかい光に照らされている様子。二番目に、たくさんの人とお互い笑顔で話している様子を思い浮かべます。

昨年度から収まることのない新型コロナウイルスの猛威。家にいる時間が増えた今、好きな場所へ行ったり、遊んだりすることもはばかられ、私は悩むことが増えました。今でも、行き場のないもよもよとした気持ちが心のどこかにあります。

今の社会では、人との距離をとる必要があり、人に頼ったり、相談したりする心理的な距離も同時にとっているのではないかと私は考えます。人と話しがしづらいために、行き場のない気持ちが膨れあがり、それが家庭内暴力、非行、犯罪につながるのではないのでしょうか。

私は普段 SNS を使っていないため、昨年度の休校期間が終わり、本格的に学校生活が始まった頃は、人との接し方や距離の取り方が分からなくなり、友達にも声をかけづらかったり、思うようにコミュニケーションがとりづらかったりする状態が何週間か続きました。

そんな時、学校の廊下ですれ違ったダンス部の先輩が、

「優美子、おはよう！久しぶりだね！休校期間中何してた？」

と声をかけて下さいました。その時、私は「おはよう」というたった一言で、自分の存在を認識してもらえたことに、とても安心した気持ちになりました。そして、どんよりした重い、灰色の世界に、明るい光が入ってくるような気持ちになりました。このことがあってから、少しずつ人と話すことへの不安がなくなっていったのをよく覚えています。

「おはよう」「こんにちは」などの挨拶は何気ないけれど、明るく、柔らかく、そして力強い言葉なのだと思います。

「社会を明るくするためにできること」を私なりに考えてみると、まず、みんなが笑顔で挨拶を交わすことが一番大切だと思います。

次に私が大切だと思うことは、好きなことに一生懸命打ち込むことです。私は、今、ダンス部に所属しています。私が一年生の時はまだ同好会でしたが、先生や先輩の熱い思いが実って、二年生の時にダンス部に昇格しました。たくさんの先輩たちにお世話になりましたが、いつも明るく、頼りになる先輩ばかりでした。そんな先輩たちの姿は、私たちのあこがれであり、誇りでもありました。二年生の後期から、私は部長として部員をまとめる立場になりました。大会では金賞を目指して、目標に向かってがんばっています。いつも元気いっぱいのダンス部のみんなですが、時に元気がなかったり、疲れたりしている日もあります。そんなときには、部長としていつも以上に張り切って挨拶をしたり、声をか

けたりしています。そうすることで、ダンスの楽しさを伝え、自分自身も楽しむことで、部活動全体に活気が戻ってきてきます。このことから、ひたむきに取り組むことで、自分自身も、部員も、明るく前向きになることができました。今後も大切にしていきたいです。

最後に大切なことは、好きなことを通して社会とつながるということです。ダンス部では、毎年、「地域こどもプラザ」というイベントでダンスを発表したり、こどもにダンスを教えて交流したりしています。こどもたちからは、「楽しかった」「ダンスを教えてくれてありがとう」と声をかけられました。好きなこと、得意なことを通して、感謝され、素直にうれしい気持ちになりました。そしてこれからも、このような活動を通して社会とつながっていききたいと強く思いました。

ダンス部に指導員として来てくださっているユミ先生の言葉に「見て見ぬふりをするな」があります。一人一人のレベルを上げるために指導して下さっているユミ先生は、誰かを置き去りにしたりすることを決して許しません。全体のレベルを上げるために指導して下さる、厳しくも優しい、太陽のような先生です。

ダンス部の活動は一つの社会であり、私が本郷台中のダンス部という社会で学んだことは、笑顔で挨拶を交わすこと、自分で決めたことに一生懸命に打ち込むこと、そしてそのことを通して人を明るく勇気づけたりすることの大切さです。来春には私はダンス部という社会、本郷台中学校という社会を卒業していきますが、これからも大好きなダンスという活動を通して社会を明るくしていきたいと考えています。

【中学生の意見発表】

人は変わる

文京区立音羽中学校 みなみひら 南平 こうじ 江慈

僕が小学生の頃、いじめ紛いなことをしていた。僕に悪意はなかった、ただ友達との間の会話の中でふざけているつもりだった。しかし僕がやっていたことは立派ないじめだったと今では思っている。相手の立場にたってみれば、恐ろしく怖いものだったと思う。

僕がいじめをしていることに気づいたのは先生に叱られてからだった。僕は下級生に対していき過ぎたいじり、暴言を言っていた。それが相手に伝わっていて事件が発覚したのだ。ある日先生に呼びだされて状況を確認され、僕がやっていたことを告げた。

「お前がやっていることは立派ないじめだ、上級生に暴言を言われ、その子はどう思ったと思う？」

僕はそこで初めて気づいた。自分の不甲斐なさに思わず涙が出た。そんなもの流しても罪は償えないことはわかっていたが嗚咽が止まらなかった。

「この件でお前は積み重ねた信頼を失った、それだけ大きなことを犯したんだ。」先生の言葉を聞くたびに僕の中で罪の意識が芽生え、取り返しのつかない悪行をしたことへの自責の念と罪悪感で言葉を失ってしまった。それからしばらくは自分が憎くて心が苦しくずっと気持ちが沈んだままだった。そして僕は過去から少しでも目を背けるために現実からも目を背けるようになっていった。しかし友達が励ましてくれたりする過程で現実にも目を向けるようになっていった。

過去に囚われていたところから、これからについて少しずつ考えるようになっていった。だがなかなか自分を変えるということはできず、現実を見て自分を変えたい気持ちと現実から逃げて楽したい気持ちが両立してしまい心を病むこともあった。しかし僕は生徒会役員になることで大きな一歩を踏み出せた。それまでは無責任に遊び呆けていても影響はなかった。しかし生徒会役員となることで僕には責任が生まれ現実を見て責任感をもつようになった。そうして周りの環境が変化していくうちに僕も変わっていった。少しでも良い学校になるように、いじめを起こさないためにも行き過ぎたいじりを止めるようになり、自分の言動にも気をつけるようになっていった。そうして僕は周りの環境が変化していくにつれ自分の過去をただ悔やむだけでなく、現実に向き合い少しでも人のために行動するようになった。

僕が生徒会役員になったのは先生に誘われたことがきっかけだった。もし先生が過去に僕がいじめをしてしまったことを知っていて僕に生徒会役員になるという道を示してくれなかったら僕は今でも現実を見ようと思いつつも現実逃避を繰り返していたかもしれない。僕が変われたのは先生が過去の過ちで僕を排除するのではなくチャンスを与えてくれたからだ。だから僕は偏見を持たずにチャンスを与えることが大切だと考えている。僕が変われたように周りの環境によって人は変わる。しかし周囲に認められず排除され続けなければ何も変わらないだろう。だから僕は過去の出来事だけで判断するのではなく、その人の本質と可能性を見ることが大切だと思う。

人は根本的なところは長い時間をかけなければ変わらないが、環境によって人は変わっていくと思う。僕は昔から適当でズボラでそこは昔からずっと変わっていないが、一年前から比べても責任感を持つようになった。人前で堂々と話せるようになり、友人からも「変わったな」



と言われるようになった。もし僕が悪い友達とつるんでいたら僕は周囲に不良だと言われていただろう。真面目で大人しい友達と接していたら真面目だと言われていただろう。だが不良と呼ばれても真面目だと言われていても僕は適当でズボラな人だと言われるだろう。本質は変わっていかなくても人は変わっていく。だから過去に何をしてきたのかに囚われすぎるのではなく、これからの可能性や本質を見て、変わっていける環境を作っていくことが大切だと思う。

生きていれば失敗してしまうこともある。大切なのは失敗した人を排除することではなく、多面的にその人を捉え本質を探っていくことだ。自分の親しい人が、一時の誤りで犯罪や非行に走ってしまったとき、あなたはその人を排除しようとするだろうか。あなたはきっと、「あいつはいいやつだから。本当はそういうやつじゃない。」と思うのではないだろうか。

人は変わる。変わることができる。自分の体験を通して、僕はそれを信じている。だからこそ、身近に「未来を明るくしたい。」と思っている人がいたら、さりげなく支えられる人になりたい。また、そういう意識を、親しい人だけではなく、他の人にも向ける姿勢の大切さを伝え、広げていきたい。そんな一人ひとりの意識の変化が、わたしたちの社会を明るくしていく道につながっていくことを信じて…… ……。

講演「スポーツのカーバレーボールで学んだものー」

講師：元オリンピック女子バレー日本代表

櫻井 由香

リベロ制の導入後、初のリベロ（守備専門の選手）として活躍したが、そのポジションを受け入れるには葛藤があった。また全日本唯一のリベロだった当時、レシーブ練習は過酷を極めた。そのような状況の中で、自分にしかできないこと・仲間のスゴイところを見つけ、仲間を尊敬し絆が深くなった。仲間が頑張っていることを心から応援することで、自分も最後まで頑張ることができた等、スポーツから学んだ生き方についてのお話があり、参加者からは、文京区の多く子ども達に聞いてほしい内容だったとの感想をいただきました。



<社会を明るくする大会 アンケート抜粋>

- ・次世代へつなげていく為に大切な「大会」と、改めて感じました。「思っている」から行動へ移せるキッカケとなりました。
- ・中学生の意見発表にとっても感動しました。「誰も置き去りにしない」社会を目指し、身近な家庭・地域の中で青少年の成長に励ましを送って参りたいと思います。
- ・ポスターで、櫻井さんの名前を見て申し込みました。正直「社会を明るくする大会（同運動）」のことは知りませんでしたが、知るきっかけになりました。一般参加者への啓発のためにも、櫻井さんのような別の業界から講演をしていただくことは有意義だと思いました。
- ・真剣勝負で勝ち得た生き方の原点とも言えると感動しつつ、今後の私自身の人生の考え方に生かしたいと思います。
- ・スポーツと人格形成の繋がりが、良く伝わってきた。

③ 文京シビックセンター周辺広報啓発活動

- 日 時：令和3年12月3日（金）12時30分～13時30分
- 場 所：文京シビックセンター礪川公園側玄関付近、春日町交差点
- 内 容

文京区保護司会・文京区更生保護女性会を中心に、更正保護マスコットキャラクター（ホゴちゃん）も参加し、文京シビックセンター周辺で、**啓発用**ティッシュなどを配布しながら、多くの方に運動の趣旨を呼びかけました。

- 参加者：65人（構成団体54人 他11人）

文京シビックセンター礪川公園側玄関付近



春日町交差点



2 環境浄化推進活動

(1) 子ども110番

【事業の目的と概要】

「子ども110番」は、子どもたちが身の危険を感じた時に、一時的に避難できる場所（個人・商店・民間事業所等）を確保し、子どもの安全を地域ぐるみで守ることを目的としています。

具体的には、「子ども110番」ステッカーを掲示するとともに、万が一の際に避難してきた子どもを保護し、関係機関に連絡をするものです。

【協力者の把握】

令和2・3年度はステッカーの掲示場所や協力者数を把握するために、区内協力者・店舗・事業所へ調査票の送付を行っています。

【名簿の作成と見舞金保障制度】

調査票の調査に基づき、協力者名簿を作成し、区・区立小学校並びにPTA・区内警察署で共有する予定であります。併せて、協力者に対する見舞金制度を導入しています。

【「子ども110番」の周知と拡充】

区内の小学1年生に、避難場所の印として認識してもらうため、直径5cmのミニ110番ステッカーを配付し、学用品などに貼ってもらっています。

【調査実績】

協力者数：1, 565件（令和4年3月31日現在）



(2) 不健全図書類販売状況調査

①趣 旨

現在、青少年を取り巻く環境は、青少年の健全な育成を阻害する恐れのある有害情報が氾濫するなど、決して良好なものとはいえない状況にあります。このような状況を受け、東京都では「東京都青少年の健全な育成に関する条例」（以下、「都条例」という。）に基づく不健全図書類の区分陳列化の推進や、青少年に対する販売規制などを行っています。

また、区市町村からの推薦に基づき、東京都から委嘱を受けた「東京都青少年健全育成協力員」（以下、「協力員」という。）が、年3回程度、指定図書・表示図書等の不健全図書の販売状況を調査しています。

さらに文京区では、書籍・ビデオ等取扱店・コンビニエンスストアやメディア関連団体等に対し、自主規制の要請文を送付し、青少年の健全育成を推進するため、より良い地域環境づくりに取り組んでいます。

②不健全図書類の種別について

A 不健全図書類の種類

※「図書類」＝書籍、雑誌、ビデオテープ、DVD、CD-ROM、テレビゲームソフト等

〈a〉指定図書類＝都が不健全図書類として指定した図書類（都条例第8条、第9条）

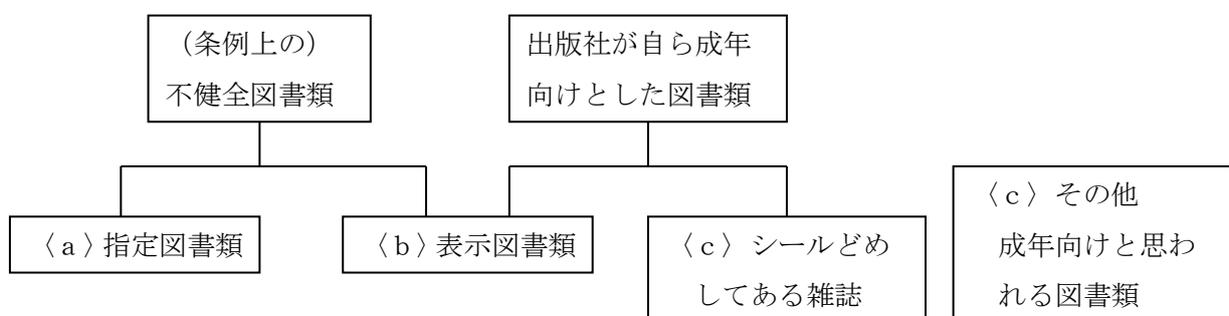
〈b〉表示図書類＝出版社等が、青少年が閲覧し、又は観覧することが適当でない旨の表示をした図書類（条例第9条の2）

〈c〉成年向けと思われる図書類＝※条例での定めはない。

指定図書類又は表示図書類以外で、

ア シールどめ雑誌の場合・・・出版社が自主規制で雑誌の小口部分をシールどめし、
青少年が容易に閲覧できない措置がされたもの

イ その他の場合・・・成年向けと思われる図書類等、特に青少年に見せたくない図書類



B 指定図書類、表示図書類についての出荷方法、販売方法の制限

○出版社の義務、自主的措置

	表示図書類	指定図書類
表示の努力義務	青少年が閲覧し、又は観覧することが 適当でないと考えた図書類には、表示 するように努めなければならない。	都が不健全指定図書類として指定 するのは、店頭等で販売、貸付けさ れてからなので、出版社等には関係 規定は適用されない。
包装の努力義務	包装するよう努めなければならない。 (ビニール包装若しくはひも十字掛け)	

※出版社が自主的に行うシールドめ

表示図書以外で、出版社が青少年に相応しくないと考えた雑誌について、条例によらない自主的な措置として、小口部分を2ヶ所シールドめした雑誌がある。

○販売店等の義務

	指定図書類 (※罰則付きの義務)	表示図書類 (※努力義務)
販売等の禁止	青少年に販売等してはならない。	青少年に販売等しないように努めなければならない。
閲覧の禁止	何人も青少年に閲覧させてはならない。	何人も青少年に閲覧させないように努めなければならない。
区分陳列義務	一般の図書類と区分して陳列しなければ ならない。	一般の図書類と区分して陳列する ように努めなければならない。
包装の義務	包装して陳列しなければならない。	(出版社等の努力義務)
制限掲示	「青少年は購入、閲覧できない」旨の掲 示をしなければならない。	左記の掲示をするよう努めなけれ ばならない。

※「成年向けと思われる図書類」は、条例上、指定図書類、表示図書類と異なり直接的な規定はないが、事業者の一般的な努力義務として、青少年の健全な成長を阻害するおそれがあるときは、青少年に販売等しないように努めなければならないと規定している。

3 文京区「家庭の日」啓発

文京区では、平成3年8月より、毎月第2日曜日を文京区「家庭の日」と定め、家庭の意義を見直し、家族のふれあいやきずなを深めるため、各種啓発事業を展開しています。

【広報啓発活動】

文京区「家庭の日」をより多くの区民の方に周知し理解していただくため、また、家族がふれあえるきっかけづくりとなるよう植物の種の入った啓発品を作製し、区立小学校全児童に配布しました。

植物を育てる時間や、成長の喜びを家族で共有し、家族のきずなを深めてもらうことを目指しています。



植物の種の入った啓発品

【九地区合同行事】

文京区青少年健全育成会九地区合同行事「文の京こどもまつり」は、11月の家庭の日にあわせて開催されました。

※事業内容は「文京区青少年健全育成会活動」10ページより掲載。

4 文京区青少年の社会参加推進事業補助金

区内で非営利活動を行う団体（NPO等）が実施する、青少年の社会参加を推進する事業や、青年育成事業に要する事業の経費の一部を補助することにより、青少年の自立の促進や、地域社会において自主的に活動できる青年の育成を図ります。

本年度は別表の2実施団体に対して補助を行いましたが、全ての事業において新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止となりました。

令和3年度 文京区青少年の社会参加推進事業補助金交付事業・・・中止

実施団体	申請事業
文京区南会津町交流雪遊び実行委員会	文京区南会津町交流雪遊び
文京区青少年委員会	1. チャレンジウォーク 2. サマーチャレンジスクール 3. 令和3年度 リーダーチャレンジ育成会会議

青少年対策推進関係機関連絡会

1 趣 旨

学校・警察・教育委員会・区の関係者が、生活指導・非行防止・青少年施策等における様々な課題について情報・意見交換を行うことにより、各機関の緊密な連携と青少年対策の推進を図るものです。

2 構 成

国立・私立小学校生活指導担当教諭
国立・私立中学校生活指導担当教諭
都立中等教育学校生活指導担当教諭
国立・都立・私立高等学校生活指導担当教諭
巣鴨少年センター主査
区内警察署少年係長
教育委員会指導主事
児童青少年課長

3 議 事

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止しました。

令和5年 2月 発行

令和3年度

文京区青少年健全育成活動の記録

発行 文京区教育推進部児童青少年課

〒112-8555 文京区春日1-16-21

電 話 5803-1186 (ダイヤルイン)

F A X 5803-1368

Email b702000@city.bunkyo.lg.jp
